

### 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	No5	ご家族の同意の下、夜間不穏時に夜勤者が対応できない時に限り柵を短時間使用、安定されている時や熟睡時は使用していない。定期的にモニタリングも行っている。今後、できれば4点柵の使用の時間短縮、解除に向けて取り組みたいが安全面を考えると不安である。	毎月のモニタリングを実施しながら、できる限り拘束時間の短縮に努める。	① 毎月のモニタリングを確実に行う。 ② 夜間帯に熟睡された時間を記録することで柵使用の短縮に繋げる。 ③ 身体拘束の研修会がある時は参加し知識を高め伝達研修を行う。	12ヶ月
2	No13	火災や各自然災害に関するマニュアルは整備されており、年2回の避難訓練も実施できており関連病院関係者との連携もとれている。地域消防団、地域住民との交流が密にできていない。	地域消防団、地域住民との交流を図る。	①地域消防団、地域住民の方々に施設行事等の連絡をして来所して頂き、その際に施設の構造や避難経路を把握してもらう。	12ヶ月
3		ご家族の困っていること、不安、求めていること等の話をよく聞く事で苦情に繋がらないように職員全員で対応する事が必要である。	職員全員で情報を共有しできる事はすぐに対応する。	①ご本人、ご家族様の話を傾聴する。 ②できることはすぐに対応し、分からない時は後日、検討してから報告する事を伝え承諾頂く。 ③ 職員全体で情報が共有できるように記録に残す。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。